



みんなの健康

最新医療情報

コロナ禍で 心の健康を 保つには

みんなの健康 1 2021.5/6

進化する病院

横浜労災病院

◆こんな時どうする？
おとなのワクチン

在宅医療の今
サルビアねっと

No.282

5・6
月号

表紙 / 正覚寺のショウブと
アジサイ(都筑区)

医療マンガ大賞

厚生労働省が実施した「上手な医療のかかり方アワード」で、この3月に表彰された「医療マンガ大賞」を知っていますか？横浜市医療局が主催する、医療における“視点の違い”をマンガで描いて伝えるという広報の企画です。診療現場のやり取りの一つをとっても、患者と医療従事者では受け取り方や感じ方が異なることは少なくありません。その“視点の違い”に着目したものです。同じ出来事について双方の視点から描かれたマンガを読み比べることで、コミュニケーションのギャップを共感によって縮めてもらう、きっかけ作りを目指しています。審査員の一人である横浜市医師会常任理事の筑丸志津子先生は「市民の皆様にも医療を身近に、そして考えるチャンスを持っていただけの素晴らしい企画。私自身も、普段の診療では体験できないような患者さんからの視点で、医療現場をとらえ直す良い機会となりました。この経験を医師としての仕事に活かしたい。」と語っています。受賞作品はウェブサイトで全編公開しています。ぜひご覧ください。

(サイトの詳細は8面記載)



表紙／正覚寺（都筑区）花の寺として知られ、5月下旬から鐘楼堂の周りにアジサイとショウブが美しく咲き始める。センター南駅から徒歩5分。

こんな時どうする
おとなのワクチン

横浜市皮膚科医会副会長 浅井 俊弥 先生
浅井皮膚科クリニック

新型コロナウイルスワクチンのほかにもおとなが受けられるワクチンがあるのでしょうか

病気の発生や重症化を防ぐことができるワクチンは、こどもだけのものではありません。おとなに対しても、肺炎を予防する肺炎球菌ワクチン、風疹やはしかを予防するMRワクチン、帯状疱疹を予防する水痘ワクチンと帯状疱疹ワクチンなどがあります。



横浜市が接種を勧めているワクチンがありますか

肺炎球菌ワクチンは、まだ1回もワクチン接種を受けたことがない、65歳以上の高齢の方（65歳から5歳ごと）に、また、内臓の疾患や障害のある方にクーポン券が送られています。

風疹は、妊娠している女性がかかると胎児に目、耳、心臓などの障がいが起こる可能性があるため、社会的に防がなければならぬ病気です。学童期に風疹のワクチン接種を受ける機会がなかつ

た成人男性に対しては、クーポン券が送られます。まず、採血をしてワクチンを受ける必要があるかを検査し、必要な場合はMRワクチンの接種を無料で受けることができます。さらにこの制度とは別に、妊娠の可能性がある女性やその家族に対しても検査とワクチン接種の助成制度があります。

帯状疱疹の予防ワクチンがあるのですか

帯状疱疹はおとなに多い皮膚病ですが、発疹が治ったあとも神経痛が長く続いてしまったり、発

疹の出る場所によっては、目や耳に後遺症を残すことがあります。50歳以上の方の3人にひとりがこの病気になるといわれています。帯状疱疹の予防には、こどもの水痘（みずぼうそう）予防に古くから使われているワクチンと、新しく開発された帯状疱疹予防専門のワクチンがあり、50歳以上の方が接種できます。ただし、横浜市では公費による助成はまだありません。早く助成制度ができるように横浜市皮膚科医会として働きかけているところです。